

京都からの挑戦

—地球社会の調和ある共存に向けて

19の研究所・センターが紡ぎだす

報告書

京大^{まん}曼^だ茶^ら羅

2019年

日時 **3月9日(土)**
10:00~17:00

場所 **えんてつホール**

主催: 京都大学、京都大学研究連携基盤

後援: 静岡県教育委員会、読売新聞社



京都大学附置研究所・センターシンポジウム
京都からの挑戦（第14回）

報告書

地球社会の調和ある共存に向けて

まえがき

京都大学研究連携基盤主催のシンポジウム「第14回 京都大学附置研究所・センターシンポジウム 京都からの挑戦 ―地球社会の調和ある共存に向けて」を、平成31年3月9日(土)、静岡県浜松市のえんてつホールにおいて開催しました。

本シンポジウムは、本学の将来構想(WINDOW構想)の柱の一つである「独創的な先端研究・融合研究の推進による学術・社会のイノベーションの創出」のもと、本学の附置研究所と研究センターの強み・特色をさらに伸ばすとともに、異なる視点を持つ研究者の知を結集させる異分野融合・新分野創成を図ることを目的として、京都大学研究連携基盤(Kyoto University Research Coordination Alliance)を設置したことに伴い、メインテーマを「京都からの挑戦 ―地球社会の調和ある共存に向けて」として開催するものです。これまで13回にわたり京都以外の中核都市で毎年シンポジウムを開催してきましたが、今回はサブテーマを「京大曼荼羅」として、浜松市で開催しました。本報告書は、その記録をまとめたものです。

シンポジウムは、山極壽一京都大学総長の挨拶で始まり、午前は、高田匠特定准教授(複合原子力科学研究研究所)の「D型アミノ酸で語る新しい老化サイエンス」、浅香勲教授(iPS細胞研究所)の「疾患特異的iPS細胞ライブラリーの構築と難病研究への応用」、帯谷知可准教授(東南アジア地域研究研究所)の「イスラーム・ヴェール着用問題から考える中央アジアの現在・過去・未来」、村上衛准教授(人文科学研究研究所)の「海賊の終焉：中国と日本」、午後からは、福島誠子特定助教(野生動物研究センター)の「国立公園を「管理」する」、五十田博教授(生存圏研究所)の「木でつくる安全・安心な建築」、矢守克也教授(防災研究所)の「本当に人の命を守る避難訓練：心理学と防災学の融合」と題する各講演を行いました。いずれの講演も、斬新でユニークな発想による研究がなされていることが伝わる内容であり、当日の参加者(384名)からも多くの質問が寄せられました。

引き続き行われましたパネルディスカッションでは「多様性に学び真理を目指す」を題目に、山極総長、湊長博理事ならびに講演者7名をパネリストとして、時任宣博研究連携基盤長の司会により、活発な討論を行いました。

最後に、湊長博理事より、本学の研究活動について簡潔に述べて締めくくりとしました。

当日は、静岡県を中心に、多くの方にご参加いただきましたが、そのうち10代の方のアンケートには、「中学生である私にとっても分かりやすく、大変興味深い内容でした。研究者の仕事への理解も深められ、大変有意義な時間でした。」「それぞれの研究テーマについて深く知ることができ、知の世界を広げることができました。これから先、進路を決めていく上で、考える材料にしたいとおもいます。」といった、たいへん嬉しい感想をいただきました。

最後になりましたが、今回のシンポジウム開催に当たり積極的なご支援をいただきました地元静岡県の皆様、長年にわたり本シンポジウムを支えていただいております読売新聞社のご支援に心より御礼申し上げます。本シンポジウムは今後も皆様とともに継続、発展をさせていく所存です。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年11月

第14回京都大学附置研究所・センターシンポジウム

企画担当 速水 洋子（東南アジア地域研究研究所長）

目 次

まえがき

| | | |
|--------------------------------|--|-----|
| 開会挨拶 | 京都大学総長 山極 壽一 | 1 |
| 講演 1 | D型アミノ酸で語る新しい老化サイエンス 複合原子力科学研究所 特定准教授 高田 匠 | 3 |
| 講演 2 | 疾患特異的iPS細胞ライブラリーの構築と難病研究への応用 iPS細胞研究所 教授 浅香 勲 | 13 |
| 講演 3 | イスラーム・ヴェール着用問題から考える中央アジアの現在・過去・未来 東南アジア地域研究研究所 准教授 帯谷 知可 | 23 |
| 講演 4 | 海賊の終焉：中国と日本 人文科学研究所 准教授 村上 衛 | 37 |
| 講演 5 | 国立公園を「管理」する 野生動物研究センター 特定助教 福島 誠子 | 49 |
| 講演 6 | 木でつくる安全・安心な建築 生存圏研究所 教授 五十田 博 | 61 |
| 講演 7 | 本当に人の命を守る避難訓練：心理学と防災学の融合 防災研究所 教授 矢守 克也 | 73 |
| 質問回答とパネルディスカッション「多様性に学び真理を目指す」 | パネリスト：山極 壽一（京都大学総長） 湊 長博（京都大学理事） 講演者7名 司 会：時任 宣博（京都大学研究連携基盤長） | 85 |
| 総括・挨拶 | 京都大学理事 湊 長博 | 118 |
| [資料] | 案内チラシ 平成31年3月30日付け 読売新聞記事 | |

*所属・職名は平成31年3月9日現在

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム

「京都からの提言 —21世紀の日本を考える」

- 第1回 平成18年3月16日(木) 10:00~17:30
東京・品川インターシティホール
サブテーマ:「危機をいかに乗り切るか? 東アジアといかに向き合うか?」
- 第2回 平成19年3月17日(土) 10:00~17:00
大阪・エルおおさか(大阪府立労働センター)エル・シアター
サブテーマ:「ノーベル物理学賞受賞者「湯川・朝永両博士が拓いた世界」
～湯川・朝永両博士 生誕百年に因んで～」
- 第3回 平成20年3月8日(土) 10:00~17:15
横浜・新都市ホール
サブテーマ:「人間と自然: 新たな脅威と命を守るしくみ」
- 第4回 平成21年3月14日(土) 10:00~17:25
名古屋・名鉄ホール
サブテーマ:「学問のつながりのユニークさ: それがつくる明るい未来」
- 第5回 平成22年3月13日(土) 10:00~17:15
福岡・アクロス福岡
サブテーマ:「グローバル社会に生きる —未来を見据える目」
- 第6回 平成23年7月3日(日) 10:00~18:00
京都・京都大学時計台百周年記念ホール
サブテーマ:「混沌の時代に光を探る」
- 第7回 平成24年3月17日(土) 10:00~17:00
神戸・神戸国際会議場メインホール
サブテーマ:「明るい社会の未来像」
- 第8回 平成25年3月16日(土) 10:00~17:15
北海道・北海道立道民活動センター「かでの2・7」かでのホール
サブテーマ:「科学が見いだす日本の進路」
- 第9回 平成26年3月15日(土) 10:00~17:15
宮城県・仙台国際センター大ホール
サブテーマ:「社会と科学者」
- 第10回 平成27年3月14日(土) 10:00~17:20
広島・広島国際会議場国際会議ホール「ヒマワリ」
サブテーマ:「活力ある未来の`想像、と新たな展開を求めて」

「京都からの挑戦 —地球社会の調和ある共存に向けて」

- 第11回 平成28年3月12日(土) 10:00~17:10
東京・品川インターシティホール
サブテーマ:「翔ぶ、京大」
- 第12回 平成29年3月11日(土) 10:00~17:10
石川・石川県文教会館
サブテーマ:「自由風格、京大」
- 第13回 平成30年3月17日(土) 10:00~17:00
岡山・おかやま未来ホール
サブテーマ:「京大起春風」
- 第14回 平成31年3月9日(土) 10:00~17:00
浜松・えんてつホール
サブテーマ:「京大曼荼羅」

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム
京都からの挑戦
(第14回)
「地球社会の調和ある共存に向けて」
— 報告書 —

発行日 令和元年11月
編集・発行 京都大学地域研究事務部総務掛
住 所 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46
T E L 075-753-7302
印刷所 株式会社 アクティブKEI

※ 本報告書は、講演等の内容を正確にお伝えできるよう、当日の筆録に一部修正・加筆を行っております。



京都大学研究連携基盤

Kyoto University Research Coordination Alliance

化学研究所

人文科学研究所

ウイルス・再生医科学研究所

エネルギー理工学研究所

生存圏研究所

防災研究所

基礎物理学研究所

経済研究所

数理解析研究所

複合原子力科学研究所

霊長類研究所

東南アジア地域研究研究所

iPS細胞研究所

学術情報メディアセンター

生態学研究センター

野生動物研究センター

フィールド科学教育研究センター

こころの未来研究センター

物質—細胞統合システム拠点